

全労金2022春季生活闘争ニュース・第34号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

《合意速報No. 10》

中国労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

中国労組は、3月17日14時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求（金庫）					回 答（金庫）				
	正職員	個別 嘱託職員	契約職員Ⅱ	契約職員Ⅰ	再雇用 嘱託職員	正職員	個別 嘱託職員	契約職員Ⅱ	契約職員Ⅰ	再雇用 嘱託職員
基本賃金	G 1等級 2,000円	2,000円	4,000円	4,000円 時給26円	—	G 1等級 500円	要求通り	1,000円	1,000円 時給7円	—
一時金	4.6	3.5	2.5	1.75	1.75	4.6	3.5	2.0+ 50,000	1.4+ 40,000	0.5
昨年実績	4.5	3.15	2.0+30,000	1.0+50,000	50,000円	4.5	3.15	2.0+30,000	1.0+50,000	50,000円
安定雇用	無期転換 登用制度	—	(実現)			—	(実現)			
		—	(実現)			—	(実現)			
最低賃金	時間額1,120円、日額8,210円、月額172,500円 への引き上げ					時間額1,100円、日額8,070円、月額156,000円				
雇用環境	私傷病休職	—	—	(実現)		—	—	(実現)		—
	育児時短	小学校3年生まで				—	要求通り			
	ハラスメント	協議で解決					協議で解決			
単組独自要求	性的指向、及び、性自認に関わる環境構築に向けた協議					要求通り				

《金庫の発言概要》

- 要求書をいただき、要求に基づいて熟慮した回答について手交させていただいた。労使の基本認識で一番重要なことは、お互いに健全な緊張関係のもとで、日頃よりお互いの立場を尊重し、真摯な議論を尽くす中で信頼関係を維持・構築していくための努力を怠らないことだと思っている。なぜなら、労使は利害関係の伴うステークホルダーになる。私たちを取り巻いている社会・経済状況や、金庫の経営環境等は、私たちにとって常にプラス要因に働くものではない。だからこそ日頃からお互いに信頼関係を作っていく努力を怠ってはいけないと思っている。そして、労使が信頼関係を築き、確認する場として、春闘交渉が大きな意味を持っているというのも自覚している。ただ単に、職員の皆さんの賃金・一時金、労働条件を決める場だけでなく、この間積み上げてきた信頼関係が本当のものであるのか、しっかり

したものであるのか、それをより深めるのか、確認する場だと感じている。そうしたスタンスをもって本日の回答に臨んでいる。

- 22日に要求提出交渉で、委員長から現在の私たちを取り巻く状況・情勢認識、書記長から要求の主旨説明を受けた。多く違うところはないと認識している。そのうえで、本日、熟慮の上で回答をさしあげた。
- 労組の理解をいただく中で、円満に妥結をし、労使役職員一体となって新たな第7期中計2年目を気持ちよく迎えるスタートを切るための場にした。

《池田闘争委員長の発言概要》

- 全組合員を代表して、挨拶を申しあげる。本春闘は、各交渉内容を踏まえ、労働組合からの要求に対する回答に向け、真摯に検討をいただいたことに、心から感謝を申しあげる。
- 回答内容については、不祥事や不適切な事案等の様々な課題があり、感染症対策を講じながらの事業運営等の厳しい金融情勢にもかかわらず、2021年度の私たちの頑張りを真摯に受け止め、有額回答をいただいたことは、職員・組合員の奮闘に答え、そして、人財確保・定着化、働きがいもてる労働条件の整備に向けた対応をしていくという金庫の思いが伝わる回答であると闘争委員会は判断した。
- 要求内容に対する誠意ある回答は、今年度の職員の奮闘に報いるものだけではなく、新年度や未来に向けた職員・組合員に対する大きな期待を込めた、金庫経営陣からのメッセージであると認識している。
- 2022年度は中計の中間年度であり、すべての役職員が働きやすい、働き続けたいという思いをもって、事業計画の目標達成に向け、努力を惜しまず、引き続き、不祥事件における再発防止に向けた取り組みや労働金庫にふさわしい組織風土を労使が一丸となって進めていくことを改めて表明する。
- お互いの立場を尊重した労使関係により、さまざまな課題克服に向けて、ともに努力することを確認し、労働組合の代表者としての挨拶とする。

単組は、①金庫として、労組の要求主旨に対し理解を示し、すべての職位に対して昨年実績を上回る回答が示されたこと、②支給実績のない再雇用職員に回答が示されたこと、③契約職員Ⅱの基本賃金改善が、契約職員Ⅰと同額となったこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（8単組／3月17日18時50分現在）

沖縄・北海道・長野・近畿(金庫)・近畿(関連)・新潟・東北(金庫)・東北(関連)
セントラル・中国(金庫)

以 上